

「道の駅」の新たな展開 ～重点「道の駅」の選定～

- 「道の駅」を、好循環の地方拡大の強力なツール、地方創生を進めるための「小さな拠点」と位置づけ、各省庁と連携して、特に優れた取組を選定し、重点支援する取組を実施
- 有識者委員会を経て、重点「道の駅」等として合計90箇所を選定し、公表（平成27年1月30日）
さらに、平成28年1月27日には重点「道の駅」を38箇所選定し、公表

＜主な取組内容＞

- ①産業振興
地域の特産品を活かした産業振興「道の駅」
- ②地域福祉
地域の高齢化等に対応した住民サービス（地域福祉）を提供する「道の駅」
- ③交通結節点
公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供する「道の駅」
- ④防災
災害時に高度な防災機能を発揮する「道の駅」
- ⑤観光総合窓口
地域の観光総合窓口となる「道の駅」
- ⑥インバウンド観光
インバウンド観光を促進する「道の駅」
- ⑦地方移住等促進
地方移住・ふるさと納税推進に貢献する「道の駅」
- ⑧交流・連携
地域間の交流・連携を促進する「道の駅」

＜支援内容＞

- 自治体・関係機関による協議会等を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を作ります。
- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、直轄道路事業及び社会資本総合交付金等を活用して国土交通省が支援します。
- 重点「道の駅」の取組を広く周知します。

＜選定の流れ＞



「道の駅」有識者懇談会	
委員長：石田 東生	筑波大学 システム情報系社会工学域 教授
楓 千里	(株) JTBパブリッシング 取締役 ノジュール事業担当
篠原 靖	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授
根岸 裕孝	富崎大学 教育文化学部 准教授
山田 知子	比治山大学 現代文化学部 教授
(敬称略・五十音順)	

